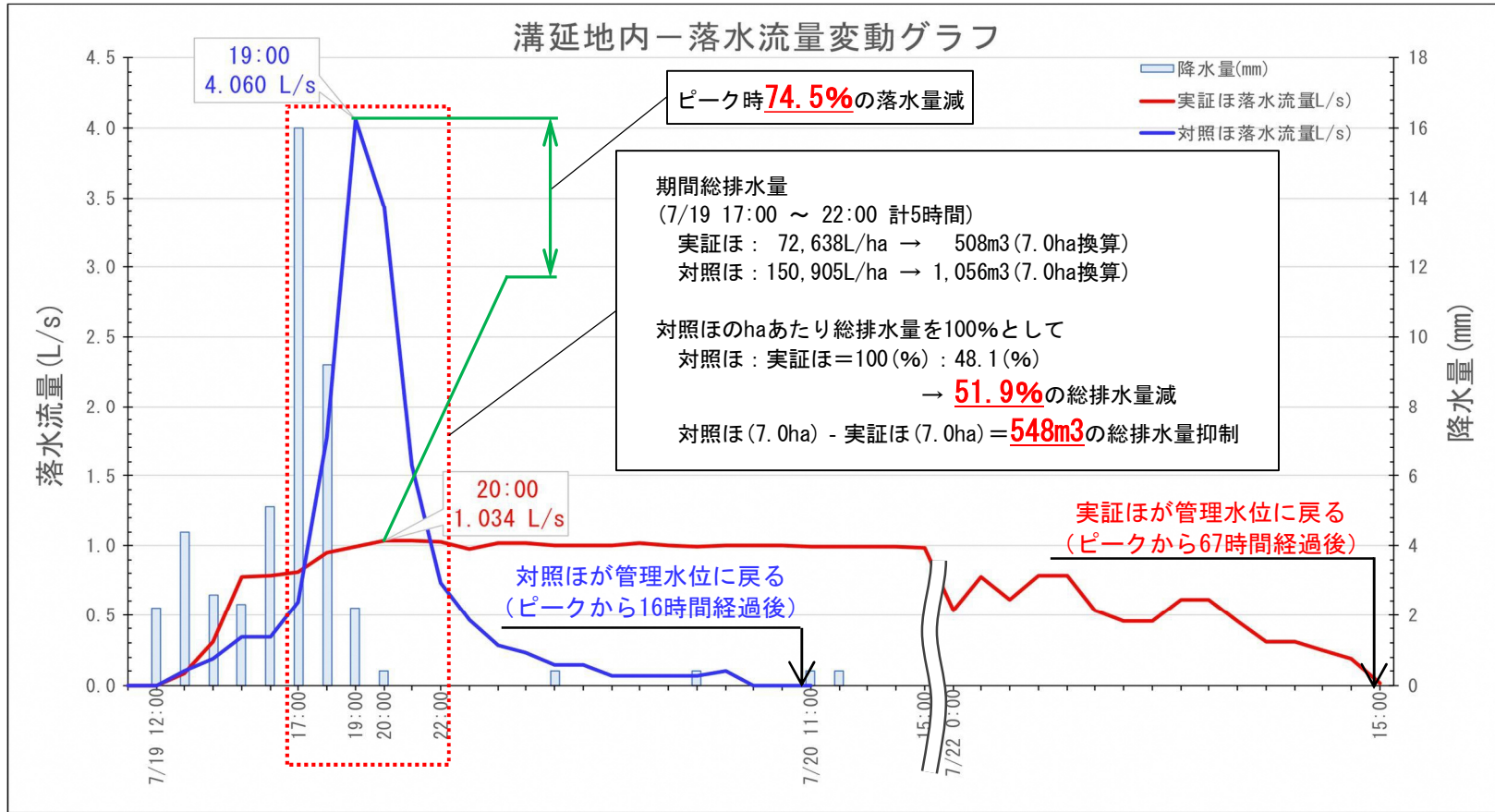


# 検証方法

実証ほ・対照ほそれぞれに3ヶ所ずつ設置した田面水位計で計測した水位データより、期間を通して有意なデータを得られたほ場を選定した後、落水流量の算定を行い、ピーク落水流量と期間総排水量について検証した。



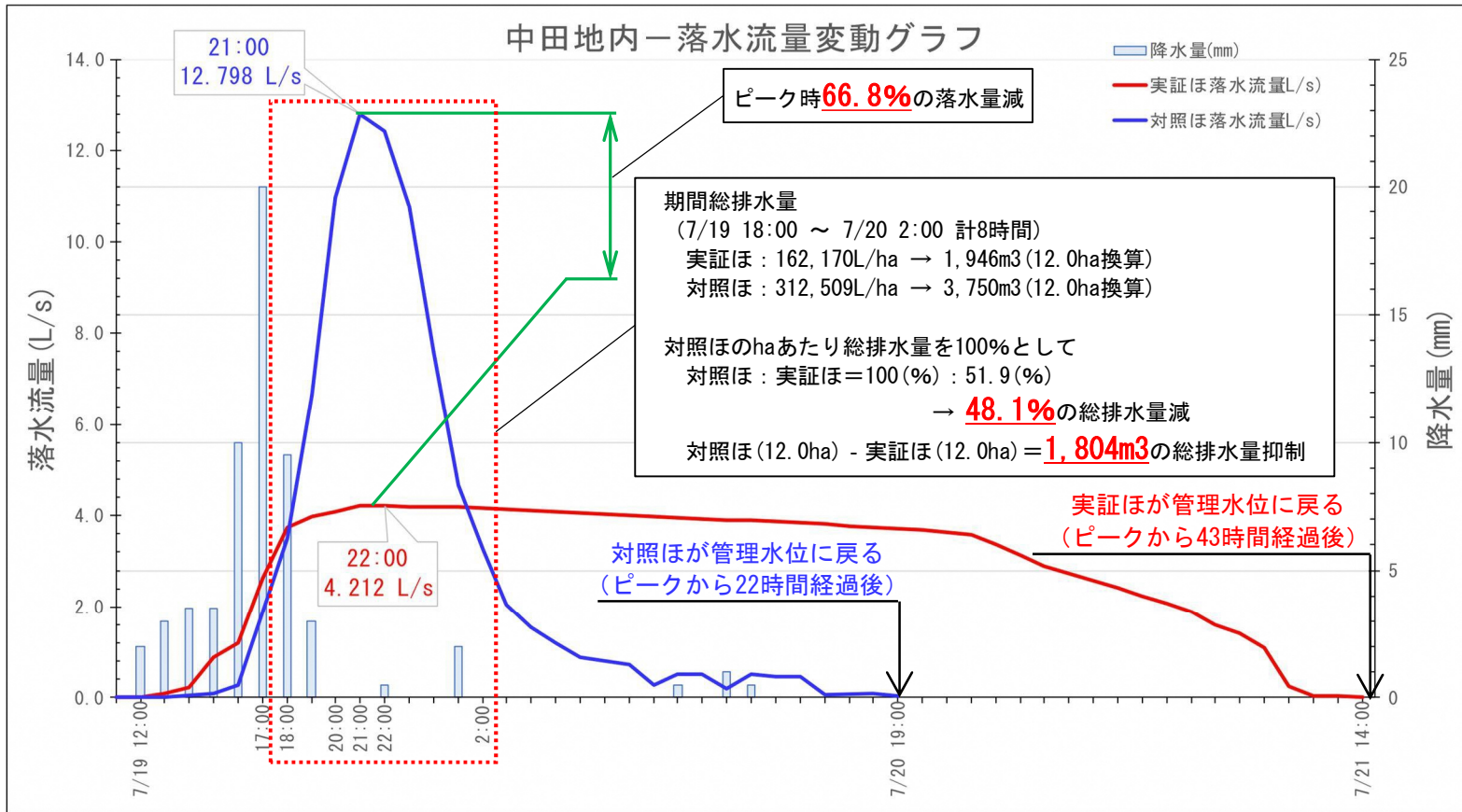
### 考察

① 対照ほに対して、実証ほではピーク時の落水量が74.5%減少している。  
 →ピーク流出量が減少することにより、河川への流出が抑制された。

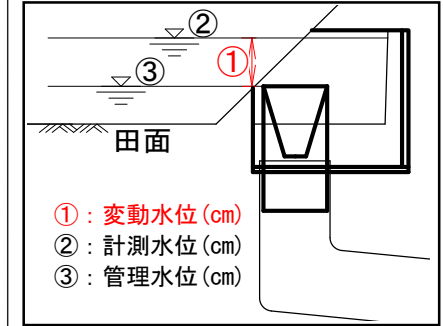
② 対照ほに対して、実証ほでは降雨後一定時間の総排水量が1haあたり51.9%減少している。  
 →田んぼダムによる一時的な貯留機能効果により下流域への排水抑制が図られた。

# 検証方法

実証ほ・対照ほそれぞれに3ヶ所ずつ設置した田面水位計で計測した水位データより、期間を通して有意なデータを得られたほ場を選定した後、落水流量の算定を行い、ピーク落水流量と期間総排水量について検証した。



※グラフ縦軸の0は、各ほ場の管理水位としている (下図参考)



対象降雨量 : 54.5mm  
(7/19 12:00 ~ 20:00 計8時間)



## 考察

- ① 対照ほに対して、実証ほではピーク時の落水量が66.8%減少している。  
→ピーク流出量が減少することにより、河川への流出が抑制された。
- ② 対照ほに対して、実証ほでは降雨後一定時間の総排水量が1haあたり48.1%減少している。  
→田んぼダムによる一時的な貯留機能効果により下流域への排水抑制が図られた。